**2024年 感染症事例のリスクアセスメント研修会**

―新興感染症・マス・ギャザリングから日常のリスクまで－

本研修会は公衆衛生従事者が良好な感染症危機管理を実践する一助として、WHOによる国際保健規則（IHR）の考え方も踏まえ、実地の感染症事例に対する疫学的視点に基づく分析やリスクアセスメントの方法について、参加型で学ぶことを目的とし、学会総会時に開催するものです。

研修会では、新興・再興感染症対策（例：COVID-19、エボラ出血熱、Mpox等）、大規模イベント（マス・ギャザリング）における感染症予防対策、また、比較的身近な感染症（例：麻疹）等、様々な事例の中からテーマを選んで、具体的な演習を行います。

具体的な演習を行うことによりシミュレーションを経験し、日常業務において感染症危機事例を迅速に検出・評価し、最終的には的確な対応を実施することができる判断および実務能力の獲得を目標とします。どうぞ奮ってご参加ください。

なお、本研修会は修了書を発行し、日本公衆衛生学会認定専門家制度のクレジット（20点）を提供します。

**日時**：2024年10月31日（木）13時00分～17時00分

**会場**：札幌コンベンションセンター　107-108会議室

　　　　　　札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1

**内容**： 感染症事例のリスクアセスメント

* 趣旨説明（白井千香／日本公衆衛生学会感染症対策委員長／枚方市保健所）
* 基調講演「感染症危機管理のためのリスクマネジメントの考え方」

（押谷仁／東北大学大学院医学系研究科微生物学分野）

* ワークショップのためのオリエンテーション

（中島一敏／大東文化大学スポーツ・健康科学部健康科学科）

* ワークショップ「リスクアセスメントを学ぶ」: グループ討議・発表

（ファシリテーター：感染症対策専門医・研究者・実務者等）

**対象者**：第83回学会総会参加者（医師・保健師・食品衛生監視員等の公衆衛生従事者、感染症医療関係者、IHEAT要員、大学等の研究者等）

**定員**：60名程度：なお、多職種で効果的に演習を行うために、参加回数、職種別に定員を調整させて頂く場合があります。

**参加費**：2,000円（資料代含む）

**申込方法**：研修会に参加をご希望される方は、裏面の申込用紙に必要事項を記載の上、下記問合せ先宛てにFAXにて、または本学会ホームページに掲載しているWordファイルをご利用頂きEメールにてお申し込みください。

**備　　考：多くの方にご参加いただけるよう、受講確定後にやむを得ずご欠席されることになった場合は必ずご連絡ください。なお無断欠席が続く方は、以降お申し込みをお断りさせて頂くことがございますのでご了承ください。**

**〆　　切**：9月6日（金）必着

**主催**：一般社団法人日本公衆衛生学会 感染症対策委員会

**共催**：一般社団法人日本公衆衛生学会 専門職・教育生涯学習委員会

［詳細・最新情報は日本公衆衛生学会ホームページでご確認ください。］

**問合せ先**：一般社団法人日本公衆衛生学会 事務局

TEL　03-3352-4338 E-mail [phgakkai@jpha.or.jp](mailto:phgakkai@jpha.or.jp)

**一般社団法人日本公衆衛生学会感染症対策委員会主催**

**2024年感染症事例のリスクアセスメント研修会**

　Email　[phgakkai@jpha.or.jp](mailto:phgakkai@jpha.or.jp)

**参　加　申　込　書**

【申請者】

　　ふりがな（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　会員№

所属機関　　　　　　　　　　　　　　　　　部署

職種　　　　　　（医師・歯科医師・保健師等）役職　　　　　（課長・講師・助教等）

連絡先（勤務先・自宅）どちらかに○をつけてください。

住所　〒

Tel.　　　　　　　　　　　　　　　　　　　Fax.

E-mail　　　　　　　　　　　＠

参加費用　2,000円（資料代を含む）

（交通費、宿泊費等は別途自己負担でお願いします。）

　受講が決定しましたら、振替用紙を送付しますので、参加費用をお振込下さい。

　入金を確認次第、受講通知をお送りいたします。

　なお、いただいた参加費用はお返しできませんので、ご承知下さい。

この度は、当研修会にお申し込みいただきまして有り難うございました。